

vol.3 棋友会presents

囲碁ガール対談
(その2)鈴木 かおり × 舟橋 史恵
(63期) (63期)

【棋力】
10級
【囲碁歴】
2年
【憧れの手筋】
サルスベリ
【注目の囲碁ニュース】
井山棋聖7冠達成



【棋力】
二段
【囲碁歴】
13年
【好きな手筋】
オイオトシ
【注目の囲碁ニュース】
アルファ碁vsイセドル

鈴木 (以下「S」とする) : 4月号に続き、東弁公認の囲碁同好会「棋友会」の活動内容をご紹介します。現在、棋友会の会員数はどの位いるのでしょうか？

舟橋 (以下「F」とする) : 150人位らしいですよ。私もまだ全員とお話したことはありません。

S : 棋友会の会員の方は、皆さん初心者にも優しいですよ。教え上手で褒め上手。でも、経験者からしたら初心者との対戦は退屈じゃないですか？

F : 囲碁は置き石の数でハンデをつけることができるから、実力差があっても楽しいですよ。

S : それなら安心です。でも、私のように大人になってから囲碁を始めても、強くなれるのでしょうか？

F : もちろんですよ。棋友会の有段者の中には、修習生時代に教官や指導担当者から習ったという方、弁護士になって始めた方もたくさんいらっしゃいますよ。

S : それを聞くと心強いです。ところで、囲碁が仕事の役に立つと思うことはありますか？

F : 「囲碁は民事訴訟、将棋は刑事訴訟に似ている」という話を聞いたことがあります。相手の手を予想したり、全体を俯瞰しながら構想を練ったりすることは、日々の弁護士業務にも役立つかもしれません。

S : 面白いですね。そういえば、囲碁はその人の性格が出るゲームだとも聞きました。

F : そうですね、弁護士の碁打ちは勝負好きが多いような気がします。職業柄、碁盤の上でもつつい全力で戦ってしまうのかもしれませんが（笑）。

S : 法曹界でも、弁護士だけでなく裁判官や検察官、

公証人にも囲碁を打つ方は多いですね。

F : そうですね。全国の法曹関係者が参加する「法曹囲碁大会」が毎年11月23日（祝）に開催されていますが、昨年も北は東北から南は岡山まで総勢100人を超す法曹囲碁ファンが集まりましたね。

S : 私は昨年初めての参加でしたが、とにかく大勢の方が来られていて、ものすごい熱気でした。

F : 鈴木さんが参加した級位者リーグでは、東弁（棋友会）チームが優勝しましたね。

S : はい！こんなに早く大会に出られたのは、優しく教えてくださった先輩方のおかげです。

F : 定例会（毎月第1火曜日と第3水曜日の夕方から弁護士会館4階の第2会員室で開催）にはいつも参加するという方もいらっしゃれば、法曹囲碁大会だけは欠かさず参加するという方もいらっしゃいますよね。

S : 仕事や家庭が忙しい方も多いでしょうからね。棋友会はマイペースに好きなときだけ顔を出せるから、私のような初心者でも参加しやすいです。

F : 碁会所よりも来やすいかもしれませんね。もっともっと多くの方に来ていただけると嬉しいです。

S : 沢山の方と囲碁で交流できると嬉しいです！